

(1) 施設の利用状況

目 標	メニュー	事業種目	事業実施 主体	施設等 区 分	設置年度	個別指標 (目標値)	達成状況					備 考
							1年目 (令和3年度)	2年目 (令和4年度)	3年目 (令和5年度)	4年目 (令和6年度)	目標年度 (令和7年度)	
安定供給 体制の整 備推進	高性能林業 機械等の整 備	林業機械作 業システム整 備	佐々木木材	林業機械導入【素材生産型】 高性能林業機械等 プロセッサ	令和2年度	素材生産量 (m³) 6,003 → 9,003	7,500 6,921 92%	7,500 6,427 86%	8,000 7,907 99%	8,500 9,082 107%	9,003	上段:計画 中段:実績 下段:達成率
						素材生産性 (m³/人日) 5.26 → 7.83	5.85 7.30 125%	6.52 7.60 117%	6.96 8.80 126%	7.39 8.90 120%	7.83	
						稼働時間 (時間)	— 1,140	— 1,220	— 1,248	— 1,190	—	
						稼働日数 (日)	— 210	— 225	— 228	— 219	—	

安定供給体制の整備推進	高性能林業機械等の整備	林業機械作業システム整備	(有)中越木材	林業機械導入【素材生産型】 高性能林業機械等 プロセッサ	令和2年度	素材生産量 (m³)	3,300	4,300	4,900	5,500	6,200	上段:計画 中段:実績 下段:達成率
						3,059 → 6,200	5,109	5,927	6,243	6,808		
							155%	138%	127%	124%		
						素材生産性 (m³/人・日)	5.00	5.40	5.80	5.90	6.20	
						4.70 → 6.20	5.07	5.90	6.30	7.10		
							101%	109%	109%	120%		
						稼働時間 (時間)	-	-	-	-	-	
							431	912	842	707		
						稼働日数 (日)	-	-	-	-	-	
							171	223	203	211		

目 標	メニュー	事業種目	事業実施主体	施設等区分	設置年度	個別指標 (目標値)	達成状況					備 考
							1年目 (令和4年度)	2年目 (令和5年度)	3年目 (令和6年度)	4年目 (令和7年度)	目標年度 (令和8年度)	
安定供給体制の整備推進	高性能林業機械等の整備	林業機械作業システム整備	有限会社大内林業	林業機械導入【素材生産型】 高性能林業機械等 ハーベスタ	令和3年度	素材生産量 (m³)	10,000	10,500	11,500	12,000	12,500	上段:計画 中段:実績 下段:達成率
						9,349 → 12,500	8,733	8,367	10,346			
							87%	80%	90%			
						素材生産性 (m³/人・日)	9.00	10.10	11.40	11.50	11.60	
						8.00 → 11.60	10.40	10.70	14.50			
							116%	106%	127%			
						稼働時間 (時間)	-	-	-	-	-	
							638	689	429			
						稼働日数 (日)	-	-	-	-	-	
							124	146	102			

安定供給体制の整備推進	高性能林業機械等の整備	林業機械作業システム整備	有限会社光永運送	林業機械導入【素材生産型】 高性能林業機械等 ロングリーチグラブブル	令和3年度	素材生産量 (㎡) 6,463 → 9,500	7,000 10,230 146%	7,500 6,692 89%	8,000 11,133 139%	8,500	9,500	上段:計画 中段:実績 下段:達成率
						素材生産性 (㎡/人・日) 5.40 → 7.00	5.50 8.60 156%	6.00 7.30 122%	6.50 7.40 114%	6.50	7.00	
						稼働時間 (時間)	- 524	- 464	- 713	-	-	
						稼働日数 (日)	- 138	- 146	- 134	-	-	
安定供給体制の整備推進	コンテナ苗生産基盤施設等の整備	コンテナ苗生産基盤施設等の整備	有限会社中越木材	コンテナ苗生産基盤施設等 コンテナ苗生産施設装置等 コンテナ苗生産機械器具他 ビニールハウス ビニールハウス防草設備等	令和3年度	コンテナ苗の生産量 (千本) 0 → 50	10 22 220%	15 23 153%	20 29 145%	30	50	上段:計画 中段:実績 下段:達成率
						コンテナ苗増加量 (千本) 50	10 22 220%	15 23 153%	20 29 145%	30	50	
						コンテナ苗増加率 (%) 4900	900 2,100 233%	1,400 2,200 157%	1,900 2,900 153%	2,900	4,900	
木材利用及び木材産業体制等の整備推進	木材加工流通施設等の整備	木材加工流通施設整備	広島ランパーテック株式会社	木材処理加工施設 プレカット加工施設装置 その他 羽柄加工機	令和3年度	地域材利用量 (㎡) 5,545 → 7,300	5,896 6,316 107%	6,247 6,105 98%	6,598 7,681 116%	6,949	7,300	上段:計画 中段:実績 下段:達成率
						選定経営体との木材安定取引協定等の締結数 (事業体数) 3 → 5	5 5 100%	5 5 100%	5 5 100%	5	5	

目 標	メニュー	事業種目	事業実施 主体	施設等 区 分	設置年度	個別指標 (目標値)	達成状況					備 考
							1年目 (令和5年度)	2年目 (令和6年度)	3年目 (令和7年度)	4年目 (令和8年度)	目標年度 (令和9年度)	
安定供給 体制の整備 推進	コンテナ苗生産 基盤施設 等の整備	コンテナ苗生産 基盤施設 等整備	株式会社守岡 林産	コンテナ苗生産基盤施設等 コンテナ苗生産施設装置等 コンテナ苗生産機械器具他	令和4年度	コンテナ苗の生産量(千本) 0 → 60	10 137 1370%	20 67 335%	30	40	60	上段:計画 中段:実績 下段:達成率
				ビニールハウス 灌水装置等		コンテナ苗増加量(千本) 0 → 60	10 137 1370%	20 67 335%	30	40	60	
						コンテナ苗増加率(%) 5900	900 1,370 152%	1,900 6,600 347%	2,900	3,900	5,900	
木材利用 及び木材 産業体制 等の整備 推進	木材加工流通 施設等の 整備	木材加工流通 施設整備	竹野木材株式 会社	木材処理加工施設 プレカット加工施設装置	令和4年度	地域材利用(加工)量(m3) 4,057 → 5,800	4,406 3,550 81%	4,754 4,741 100%	5,103	5,451	5,800	上段:計画 中段:実績 下段:達成率

(注)

- 「個別指標」の欄には、事業計画に記載した個別指標及び目標値を記載すること。
- 「達成状況」の欄には、上段に目標値に対する各年度の実績を、下段に達成率(実績／各年度の目標値)を記載すること。なお、製品出荷量実績におけるJASの格付率又は入荷量に占めるJAS製材品の割合の報告を要する場合は、達成率の下に括弧書きで記載すること。
年度ごとに目標値を設定している場合は、最上段にそれぞれ記載すること。
- 報告年度については、要領第6の2の(2)又は第8の3に基づくこと。
- 利用料等を徴収する施設を整備した場合は、施設全体の実績のほか、利用料金等を徴収する施設ごとの実績についても記載すること。
- 木造公共建築物等の整備については、個別指標の実績のほか、以下の項目をとりまとめて併せて報告すること。
(1)要領別表1のⅡの「7木造公共施設整備」の(2)の④に係るJAS製材品の使用量、同表の7の(2)の⑤に係る地域材及び合法伐採木材の使用量を備考欄に記入するとともに、同表の7の(2)の⑥に係る本事業において整備する施設の建設工事を行う者のうち地域材の調達に関わる者のクリーンウッド法に基づく登録実施機関への登録状況(登録番号等)を記載すること。
(2)調査初年度から目標達成年度までにおいて、要領別表1のⅡの「7木造公共施設整備」の(2)の⑧の木材利用を通じた社会的課題解決の指標の状況をとりまとめて添付すること。
- 木質バイオマス利用促進整備のうち、事業計画書の備考欄に「未利用材を利用」と記載したものについては、「達成状況」欄に木質バイオマス利用量の実績の上段へ、その内数として未利用材利用量を()書きにより記載すること。
- 林業機械(リース含む。)については、個別指標の達成状況のほか、毎年度の機械の稼働時間及び稼働日数を備考欄に記載すること。
- 別表1のⅠの2の「10 林業機械リース支援」の(2)の⑨の達成状況報告は、本様式により行い、施設等区分欄にはリース物件の林業機械名称を、個別指標(目標値)欄及び達成状況の目標年度欄にはリース期間満了年度の事業実施主体ごとの素材生産量及び素材生産性の計画値を記載すること。
- コンテナ苗生産基盤施設等の整備について、事業実施主体が「認定特定増殖事業者」に該当し、目標値の達成が6年目以降となる場合は、要領第6の2の(2)に基づく「報告年度」のほか、目標値の達成年度まで欄を追加して記載すること。

(2) 収支実績

単位:千円

(広島県)

メニュー	事業種目	事業実施 主体	施設等 区 分	設置年度	項目	目 標 値	報告年度						備 考
							運 用 開始年度	1年目 (令和2年度)	2年目 (令和3年度)	3年目 (令和4年度)	4年目 (令和5年度)	目標年度 (令和6年度)	
高性能林 業機械等 の整備	林業機械作 業システム 整備	(有)光永運 送	高性能林業機械等 ハーベスタ	令和元年度	収 入	100,000	58,406	86,668	78,660	80,510	75,873	101,172	
					支 出	90,000	54,214	84,212	73,169	60,110	66,957	97,577	
					収 支 差	10,000	4,192	2,456	5,491	20,400	8,916	3,595	
					収入のうち 公的資金等			13,968	6,585	5,363	0	0	

メニュー	事業種目	事業実施 主体	施設等 区 分	設置年度	項目	目 標 値	報告年度						備 考
							運 用 開始年度	1年目 (令和3年度)	2年目 (令和4年度)	3年目 (令和5年度)	4年目 (令和6年度)	目標年度 (令和7年度)	
高性能林 業機械等 の整備	林業機械作 業システム 整備	佐々木木材	高性能林業機械等 プロセッサ	令和2年度	収 入	113,000	124,051	169,671	151,991	154,411	159,070		
					支 出	98,500	105,702	122,700	128,751	123,515	131,883		
					収 支 差	14,500	18,349	46,971	23,240	30,896	27,187		
					収入のうち 公的資金等	0	0		0	0	0		
高性能林 業機械等 の整備	林業機械作 業システム 整備	(有)中越木 材	高性能林業機械等 プロセッサ	令和2年度	収 入	74,000	30,137	57,918	65,721	82,000	82,260		
					支 出	57,444	30,984	89,189	69,459	78,930	70,837		
					収 支 差	16,556	-847	-31,271	-3,738	3,070	11,423		
					収入のうち 公的資金等	0	0			0	0		

メニュー	事業種目	事業実施 主体	施設等 区 分	設置年度	項目	目 標 値	報告年度						備 考
							運 用 開始年度	1年目 (令和4年度)	2年目 (令和5年度)	3年目 (令和6年度)	4年目 (令和7年度)	目標年度 (令和8年度)	
高性能林業機械等の整備	林業機械作業システム整備	有限会社大内林業	高性能林業機械等 ハーベスタ	令和3年度	収 入	134,000	155,570	91,560	75,897	78,499			
					支 出	131,000	110,200	79,171	67,008	68,907			
					収 支 差	3,000	45,370	12,389	8,889	9,592			
					収入のうち 公的資金等		9,900		0	0			
高性能林業機械等の整備	林業機械作業システム整備	有限会社光永運送	高性能林業機械等 ロングリーチグラブプル	令和3年度	収 入	126,126	78,659	80,510	75,873	101,172			
					支 出	109,890	73,169	60,110	66,957	97,577			
					収 支 差	16,236	5,490	20,400	8,916	3,595			
					収入のうち 公的資金等			11,792	0	0			
コンテナ苗生産基盤施設等の整備	コンテナ苗生産基盤施設等の整備	有限会社中越木材	コンテナ苗生産施設等	令和3年度	収 入	3,000	5,615	4,941	4,710	5,462			
					支 出	2,415	12,356	3,564	5,117	6,971			
					収 支 差	585	-6,741	1,377	-407	-1,506			
					収入のうち 公的資金等		562		0	0			
木材加工流通施設等の整備	木材加工流通施設整備	広島ランバーテック株式会社	プレカット加工施設	令和3年度	収 入	3,319,500	3,587,658	4,121,100	3,530,274	3,651,644			
					支 出	3,268,000	3,451,532	3,969,628	3,364,670	3,498,125			
					収 支 差	51,500	136,126	151,472	165,604	153,519			
					収入のうち 公的資金等					0			

メニュー	事業種目	事業実施主体	施設等区分	設置年度	項目	目標値	報告年度						備考
							運用開始年度	1年目 (令和5年度)	2年目 (令和6年度)	3年目 (令和7年度)	4年目 (令和8年度)	目標年度 (令和9年度)	
コンテナ 苗生産基 盤施設等 の整備	コンテナ苗 生産基盤施 設等整備	株式会社守 岡林産	コンテナ苗生産施設等	令和4年度	収 入	9,960	331	7,632	13,096				
					支 出	7,426	1,570	14,958	11,173				
					収 支 差	2,534	-1,239	-7,326	1,923				
					収入のうち 公的資金等	3,300	0	0	0				
木材加工 流通施設 等の整備	木材加工流 通施設整備	竹野木材株 式会社	プレカット加工施設	令和4年度	収 入	1,361,145	1,580,598	1,246,587	1,221,932				
					支 出	1,233,709	1,257,366	988,758	1,180,468				
					収 支 差	127,436	323,232	257,829	41,464				
					収入のうち 公的資金等				0				

(注)

- 1 「収支実績」については、以下の施設について記載すること。
- ア 収支を伴う施設

(1)木材製材施設

(2)集成材加工施設

(3)プレカット加工施設

(4)丸棒加工施設

(5)杭加工施設

(6)木材加工施設

(7)木材材質高度化施設

(8)特用林産物生産施設

(9)特用林産物加工流通施設

(10)廃床等活用施設

(11)木材集出荷販売施設

(12)森林バイオマス再利用促進施設

(13)木質エネルギー等利用促進施設

(14)木質バイオマス供給施設

(15)合・単板加工施設

(16)品質向上・物流拠点施設

(17)チップ加工施設

(18)新しい木材活用のための加工供給施設

(19)直交集成板加工施設

(20)コンテナ苗生産基盤施設等

(21)コンテナ苗幼苗生産高度化施設等

なお、利用料金等を徴収する施設を整備した場合は、施設全体の実績のほか、利用料金等を徴収する施設ごとの実績についても記載すること。

- イ 林業機械作業システム整備【素材生産型】により導入した林業機械(以下、「林業機械」という。)
- 2 「施設等区分」については、上記1のアに該当する場合は(1)から(21)までを、1のイに該当する場合は機種を記載すること。
- 3 項目の「収入のうち公的資金等」欄には、収入のうち市町村の一般財源や森林組合の他事業からの流用等施設の運営による収入以外の収入を記載すること。(収入の内数)
- 4 「目標値」の欄には、事業計画書の作成段階における収支計画を記載すること。なお、林業機械については、導入した林業機械による素材生産事業等に係る収支計画を記載すること。
- 5 「報告年度」は、要領第6の2の(2)に基づくこととし、実績を年度ごとに記載すること。
- 6 「目標年度」の欄には、目標年度の収支を記載すること。
- 7 「収入」は、販売額又は利用料等とすること。
- 8 「支出」は、固定経費及び変動経費の合計とし、減価償却費等支出に計上すべきものを正確に積み上げること。
- 9 コンテナ苗生産基盤施設等の整備について、事業実施主体が「認定特定増殖事業者」に該当し、目標値の達成が6年目以降となる場合は、要領第6の2の(2)に基づく「報告年度」のほか、目標値の達成年度まで欄を追加して記載すること。

3. 個別事業評価
森林整備・林業等振興整備交付金

(1) 施設の利用状況

目 標	メニュー	事業種目	事業実施 主体	施設等 区 分	設置年度	個別指標 (目標値)	達成状況					備 考
							1年目 (令和6年度)	2年目 (令和7年度)	3年目 (令和8年度)	4年目 (令和9年度)	目標年度 (令和10年度)	
林業・木材 産業の生 産基盤強 化	高性能林業 機械等の整 備	林業機械作 業システム整 備	(株)守岡林産	林業機械導入【素材生産型】 高性能林業機械等	令和5年度	素材生産量 (m ³) 15,475 → 18,620	16,243 21,246 131%	16,868	17,493	18,118	18,620	上段:計画 中段:実績 下段:達成率
				フェリングヘッド付きフォーク収納型グラブパケット		素材生産性 (m ³ /人日) 10.40 → 11.40	10.60 10.90 103%	10.80	11.00	11.20	11.40	
						稼働時間 (時間)	- 842	-	-	-	-	
						稼働日数 (日)	- 253	-	-	-	-	

- (注)
- 「個別指標」の欄には、事業計画に記載した個別指標及び目標値を記載すること。
 - 「達成状況」の欄には、各調査年度について上段に目標値、中段に実績値を、下段に達成率(実績値／目標値)を記載すること。
ただし、数値を縮減する(減少させる)ことを目標とする指標における達成率については、各年度の目標値／実績とすること。
 - 報告年度については、要領第6の2の(2)又は第8の3に基づくこと。
 - 利用料等を徴収する施設を整備した場合は、施設全体の実績のほか、利用料金等を徴収する施設ごとの実績についても記載すること。
 - 木材加工流通施設等の整備について、製品出荷量実績におけるJASの格付率又は入荷量に占めるJAS製材品の割合の報告を要する場合は、達成率の下に括弧書きで記載すること。
 - 木造公共建築物等の整備については、個別指標の実績のほか、以下の項目をとりまとめて併せて報告すること。
(1)要領別表2のⅠの「12木造公共施設整備」の(2)の④に係るJAS製材品の使用量、同表の12の(2)の⑤に係る地域材及び合法伐採木材の使用量を備考欄に記入する。
(2)調査初年度から目標達成年度までにおいて、要領別表2のⅠの「12木造公共施設整備」の(2)の⑧の木材利用を通じた社会的課題解決の指標の状況をとりまとめて添付すること。
 - 木質バイオマス利用促進施設の整備については、未利用木質資源以外の木質バイオマスを利用した場合、「達成状況」欄の木質バイオマス利用量の実績の下段へ、その内数として未利用木質資源以外の木質バイオマスの利用量を()書きにより記載し、備考欄にその内容を()書きで記載すること。
 - 林業機械(リース含む。)については、個別指標の達成状況のほか、毎年度の機械の稼働時間及び稼働日数を記載すること。
 - 別表2のⅠの2の「11 林業機械リース支援」の(2)の⑩の達成状況報告は、本様式により行い、施設等区分欄にはリース物件の林業機械名称を、個別指標(目標値)欄及び達成状況の目標年度欄にはリース期間満了年度の事業実施主体ごとの素材生産量及び素材生産性の計画値を記載すること。
 - コンテナ苗生産基盤施設等の整備について、事業実施主体が「認定特定増殖事業者」に該当し、目標値の達成が6年目以降となる場合は、要領第6の2の(2)に基づく「報告年度」のほか、目標値の達成年度まで欄を追加して記載すること。

(2) 収支実績

単位:千円 (広島県)

メニュー	事業種目	事業実施主体	施設等区分	設置年度	項目	目標値	報告年度						備考
							運用開始年度	1年目 (令和6年度)	2年目 (令和7年度)	3年目 (令和8年度)	4年目 (令和9年度)	目標年度 (令和10年度)	
高性能林業機械等の整備	林業機械作業システム整備	(株)守岡林産	高性能林業機械等 フェリングヘッド付きフォーク収納型グラブバケット	令和5年度	収入	147,342	131,140	147,858					
					支出	145,973	143,244	156,490					
					収支差	1,369	-12,104	-8,632					
					収入のうち 公的資金等	0	0	0					

(注)

1 「収支実績」については、以下の施設について記載すること。

(1) 収支を伴う施設

- ① 木材製材施設

② 集成材加工施設

③ プレカット加工施設

④ 丸棒加工施設

⑤ 杭加工施設

⑥ 木材加工施設
- ⑦ 木材材質高度化施設

⑧ 特用林産物生産施設

⑨ 特用林産物加工流通施設

⑩ 廃床等活用施設

⑪ 木材集出荷販売施設

⑫ 森林バイオマス再利用促進施設
- ⑬ 木質エネルギー等利用促進施設

⑭ 木質バイオマス供給施設

⑮ 合・単板加工施設

⑯ 品質向上・物流拠点施設

⑰ チップ加工施設

⑱ 新しい木材活用のための加工供給施設
- ⑲ 直交集成板加工施設

⑳ コンテナ苗生産基盤施設等

㉑ コンテナ苗幼苗生産高度化施設等

㉒ 普通苗かん水施設等

なお、利用料金等を徴収する施設を整備した場合は、施設全体の実績のほか、利用料金等を徴収する施設ごとの実績についても記載すること。

(2) 林業機械作業システム整備【素材生産型】及び【造林保育型】により導入した林業機械(以下、「林業機械」という。)

- 2 「施設等区分」については、上記1の(1)に該当する場合は①から㉒までを、1の(2)に該当する場合は機種を記載すること。
- 3 項目の「収入のうち公的資金等」欄には、収入のうち市町村の一般財源や森林組合の他事業からの流用等施設の運営による収入以外の収入を記載すること。(収入の内数)
- 4 「目標値」の欄には、事業計画書の作成段階における収支計画を記載すること。なお、林業機械については、導入した林業機械による素材生産事業等に係る収支計画を記載すること。
- 5 「報告年度」は、要領第6の2の(2)に基づくこととし、実績を年度ごとに記載すること。
- 6 「目標年度」の欄には、目標年度の収支を記載すること。
- 7 「収入」は、販売額又は利用料等とすること。
- 8 「支出」は、固定経費及び変動経費の合計とし、減価償却費等支出に計上すべきものを正確に積み上げること。
- 9 コンテナ苗生産基盤施設等の整備について、事業実施主体が「認定特定増殖事業者」に該当し、目標値の達成が6年目以降となる場合は、要領第6の2の(2)に基づく「報告年度」のほか、目標値の達成年度まで欄を追加して記載すること。